

Web日記拡大版

平成28年9月15日(木)

早早朝とく運動に取り組むぞ

9月15日(木), ふれあい集会で保健委員会の子どもたちが「早早朝とく運動」への参加の呼びかけをしました。

忍者学校での修行という設定で話が進みました。手作りの忍者衣装を身にまとった子どもたちがステージに登壇すると、ステージ壁面に忍者学校の様子が映し出されました。一人前の忍者になるために、4つの修行が課せられます。それぞれの修行をするとどんなよいことがあるのか、その効果について忍者役の子どもたちが次のように説明しました。



◆修行その1「早寝をする」とどんなよいことがあるの？

答え→ 早寝をすることで体の中に成長ホルモンがたくさん出て体を成長させる。また、疲れた体を治してくれる。そして、病気に負けない体を作ってくれる。

◆修行その2「早起きをする」とどんなよいことがあるの？

答え→ 太陽の光が、眠っていた脳を起こし、心がいらいらしないようにしてくれる。

◆修行その3「朝ごはんを食べる」とどんなよいことがあるの？

答え→ 朝ごはんは、体温を上げ、脳の働きをよくしてくれる。

◆修行その4「てくてくとく歩いて 登校する」とどんなよいことがあるの？

答え→ 歩くことで体力がつき、1時間目から勉強に集中できるようになる。そして、強い心を作ることができる。

保健委員会の子どもたちによる劇が終わった後、4つの修行についてクイズ形式で振り返りをし、みんなで「早早朝とく運動」に取り組もうと確認しました。

